

# 昭和41年度 和歌山県文化賞

た なか よし ただ  
田 中 敬 忠

住 所：和歌山県和歌山市  
出 身 地：和歌山県和歌山市  
生 年：明治30年

■ 職業  
郷土史研究家

## ◎業績及び経歴

大正5年県立農林学校卒業後蔬菜園芸専門技術員となり、県立農事試験場に就職、爾来26年間園芸技術として研究と指導に力をつくし、戦後は和歌山県常盤農業学校教諭を経て農林省和歌山統計調査事務所の農林技官として農村子弟教育と農林統計の普及に努力した。

氏は幼少より郷土史の研究に興味をもち、恩師南方熊楠翁の感化によって一層郷土愛護の精神に燃え、本職のかたわら県内文化財の研究とその保護について献身的に努力してきた業績は大きい。

昭和34年本県文化向上に寄与した功績により知事表彰を受け、更に昭和35年長年文化財保護に尽力した功績により文部省文化財保護委員会より表彰を受けている。

昭和28年以来、現在和歌山市文化財保護委員長を勤めるほか、和歌山県文化財専門審議委員長、同委員、和歌山県立美術館専門委員、和歌山県自然公園審議委員等を歴任し本県文化事業の向上と普及にも活躍を続けている。

著書に「太田城水攻史」「高市志友伝」「義人吉田庄太夫と熊野一揆」外多数あり、「郷土の文化財」（和歌山県の文化財）「日本祭礼風土記」（和歌山県）その他郷土に関する調査著書も多い。

なお昭和23年皇太子殿下本県行啓の祭、郷土史についてご進講申し上げている。